



＝日本国憲法 第九条＝

《 戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認 》

戦争って秘密がいっぱい！

旧日本陸軍遺跡

「登戸研究所資料館」を訪ねて

2025年が明けても戦争という国と国との争いが続いています。誰でも個人の感情では戦争は嫌だ、人と人の殺し合いはしたくないと思っいるはずだと思っうのですが。

野田九条の会は、80年前の戦争の教訓からできた「日本国憲法第9条」をよりどころに活動を続けてきました。

今年の最初の取り組みとして、旧日本陸軍の「登戸研究所」の見学会を企画しました。この研究所は秘密戦のための兵器・資材を研究・開発するために設置され、毒ガスや細菌・風船爆弾などの開発を行い、一般にはその存在は秘密にされていました。

最盛期の1944年には技術将校・技師などの幹部所属員250名、一般の雇人・工員などを合わせ1000名に達する大規模な研究所であった

ということですが。

しかし1945年終戦とともにすべての資料は焼却処分を命ぜられ証拠の隠滅が図られたということです。戦後1950年に明治大学がその敷地の半分を建物ごと取得、「登戸研究所」の一部は生田キャンパスの中に戦争遺跡として保存・活用されています。

先の戦争の模様はテレビ・新聞などでとりあげられますが、戦争遂行のための研究開発は当然極秘の内に行われていたことは想像できません。そこに携わる科学者・研究者はもちろん事務員から作業員まで秘密を守らなければなりません。

この登戸研究所の紹介アニメ映像は、自分の毎日の仕事がどんなものなのかも知らされなかったこと、また「家族にも、誰にも言え



YouTubeより 明治大学平和教育登戸研究所資料館

登戸研究所資料館
見学会を計画しています

- ・4月に電車で行きましょう
- ・詳細は3月号と同時配布のチラシでお知らせします。



今も世界中で膨大な研究や実験が秘密のうちに進行されているのでしょうか？過去の過ちから学び、未来につなげたいものです。

3月の催事ご案内

第18回 平和のつどい・のだ

2025年3月6日(木)～11日(火)

■ 9:30～17:00 最終日は15:00

■ 野田市役所1階 ふれあいギャラリー

戦争の記憶と記録を語り継ぐをテーマに毎年開催している戦争展、今年も下記の通り開催します。今を戦前にしないためにも是非見にいらして下さい。

平和のための戦争展

- 沖縄・要塞化進む南西諸島。沖縄を再び捨て石にするな。ガサの惨状から目をそらすな
- 日佐戸輝さんの追悼展示
- 被爆の実相
- 沈没船の記録
- 原爆・ビキニのパネル
- 第五福竜丸事件の真相 ビキニ事件は終わっていない

展示内容

平和コンサート& ちょっと硬派なおしゃべりカフェ

3/8(土)・市役所1階 ホール 12:30～14:30

平和コンサート
ピアノと一緒に歌いましょう。

ちょっと硬派なおしゃべりカフェ
政治や社会のこと
どなたも気軽にしゃべりましょう。

自由参加です。

今月の予定です

2月8日(土) 13:30～16:00

野田・九条の会 YouTube 動画「日本が戦争になったときー2月例会と意見交換 軍拡の時代と秘密戦」
樺のホール 第1集会室 野田・九条の会

2月9日(日) 13:30～16:50

DVD視聴と意見交換 世界に読み継がれる「はだしのゲン」の熱伝導
南部梅郷公民館 南地域九条の会

2月9日(日) 16:00～17:00

9の日行動 九条通信配布とアピール

梅郷駅 自由通路 野田・九条の会

2月19日(水) 13:30～15:30

自由参加 ちょっと硬派なおしゃべりカフェ
政治や社会のこと気軽にしゃべりましょう。
ジャスコ内市民活動支援センター 第2会議室 野田・九条の会

3月2日(日) 13:30～16:50

DVD視聴と意見交換 自殺か？他殺か？事故死か？法医学者たちの告白
南部梅郷公民館 南地域九条の会

”新年度予算どうする” 暮らしの向上へ向け議論を盛り上げよう

いま国会は新年度予算編成の議論真っ只中だ。自公は少数与党化したため税制を密室では決められず、国民民主が提示した「103万円の壁」が予算審議の大きな争点となっている。国会は伯仲し蘇ってきた。

▶ 防衛費が急伸

新年度予算案は115兆円と目され、中でも防衛費の急伸には目をむく。5年で43兆円、新年度は従前の5兆円から3兆円積み増し8兆円で、敵基地攻撃能力の向上に関わる南西諸島のミサイル配備に費やそうとの案だ。国の安全保障は、武力増強の一方で最も効果的であるのは武力で対立するのではなく、相互に平和を維持しようとの外交意志を最大化することにある。防衛費増で増税は当たり前だと強弁が聞こえてくるが、苦況にあげぐ国民には負担増となり厳しく注目する必要がある。

▶ 予算運用の現実

予算編成で必ず問われるのが財源をどうするかだ。そこで年度予算の運用の全体はどうなっているかを見てみよう。まず政府提案を議論しそして議決、行政による予算執行、年度末に締めて決算報告となる。

一般予算は4月から資金繰りのため「政府短期証券」（国債）を発行し歳出、当該年度の歳入(税金)をもって償還する。つまり予算の範囲内であれば全て歳出でき、当初予算では不足、また被災など緊急時には補正予算の議決で同様に措置することとなる。ここで必ず争点となるのが国債発行は日本の破綻につながる、また次世代へ付けを残すなの議論だ。論

点は国債、そして通貨発行をどう捉えるかにあり、認識の違いを明らかにし財政の実態がどう働いているかを確認することだ。我が国のみ存在する60年償還ルールもこの機会に廃止を含め議論しよう。

▶ 主権者が決め、責も負う

新年度予算編成は暮らしの向上へどう繋ぐかが課題だ。「103万円の壁」をどう設定するか、また消費税減税、少なくとも食品課税ゼロ、そして教育の無償化などが挙げられる。「国の財政を処理する権限は、国会の議決に基づく」と憲法83条はいい、議決する議員を選ぶのは主権者・有権者だ。選ぶ権限を有するが責任も伴う。予算編成に無関心であったり無視することなく、この夏の参院選は暮らしの向上を約す議員は？、党は？を考え参画しよう。

＜教育予算と防衛関係費＞



社会的に弱い人と共に働く場を作っています

宮野洋子

1995年から、当時30代だった私は岩名の店舗で様々な社会的に弱い人と共に働く場づくりを進めてきました。現在紙ふうせん清水店で就労支援B型としてメンバー・スタッフ・利用する仲間総勢30名を超える働く場になっています。



リサイクルショップから始まった事業は、お弁当販売・カフェ・軽作業その他に加え、昨年秋から「古本カフェ」を始めました。

本が読みたい方は店内にある本を自由に読むことができます（ワンオーダーをお願いいたします）。買いたい方は買うことができます。本を寄付したい方はご持参ください。寄付頂いた本はきれいにふき取りなどをし、陳列し管理します。

それらの作業も仕事の一つになります。ここに集うみんながそれぞれやりたいこと、できることを仕事として進め就労支援につながればいいかなと思います。



生きづらい、働き辛い社会で一人でも多くの方がこの場所を利用し元気で笑顔で過ごせる場所として集って欲しいと思います。

70歳を超えた今、まだまだみんなと一緒に働き続けることが出来るよう自分とうまく向き合いながらもう少し、頑張りたいと思います。

社会的に弱い人と共に働く場を作っています。

